

神田における老舗集積の立地要因と役割

—旧連雀町・佐柄木町地域の老舗に着目して—

正会員	○羽野 明帆*
同	中島 伸**
同	窪田 亜矢***
同	西村 幸夫****

神田	老舗	立地要因
企業集積	職任分離	

1. 研究の背景と目的

千代田区神田地域は少子高齢化や昼夜人口の差が激しいが、昨今地域の中に企業、新規住民、学生等の新しい主体を取り込もうという動きが現れており、改めて地域の特徴や人のつながりを明らかにする必要がある。既往研究では、神田全体で老舗を分析した研究がなく、老舗に関しては老舗集積を扱う研究がない。以上を踏まえ本研究では、歴史ある職住近接の企業であり昔からの住民でもある老舗に着目し、「老舗の地域による多様性を明らかにし、その地域性に基づく老舗集積の役割を探る」ことを目的とする。なお、老舗の定義には諸説あるが、ここでは、関東大震災を経験していることも考慮し、創業から100年以上経つ企業を指すこととする。

2. 老舗立地の地域性

現在立地している老舗を凡例のように業種で分類すると、図1のように集積が見られる。また、神田学会提供資料の創業年に基づき、都市史の区切りと考えられる年代ごとに創業した老舗をプロットした。番号は創業年順に付け、以後【番号】と表すこととする。神田の空間構造の変遷と老舗の立地の関係は、図2~6のようになっている。これにより、大学との関係、当時の交通の中心との関係など、地域によって異なる要因の老舗が立地していることが明らかになった。さらに、神保町地域は場所を移しながら各時代でも出版系の集積が見られるが、淡路町・須田町周辺は各時期では点在しており、重なった結果現在の飲食系の集積が形成されている。つまり、前者は近い時期に立地した同業種老舗が近くに集まっているという地域性、後者は異なる時期に立地した同業種の老舗が混在しているという地域性が明らかになった。

3. 旧連雀町・佐柄木町地域の社会関係

図1斜線部の旧連雀・佐柄木町地域(現淡路町2丁目と須田町1丁目の一部)は、飲食系の老舗の集積が見られ、市電最盛期には交通の中心として賑わっていた地域である。近年進んでいる周辺地域開発(ワテラス)に老舗経営者が関わっていることから、この地域の社会関係と老舗に

は密接な関係があると考えられるため、老舗企業主を対象にヒアリング調査¹を行った。その結果を、各ヒアリング対象企業と地域との関係について、関わる場とそこで役割に着目し図7に整理した。また、ヒアリング記録より、現在の老舗企業を取り巻く状況を把握した。

老舗間の関係については、親戚関係や仕事の講習、商工会等において、老舗蕎麦屋【44】を中心とした老舗間のネットワークがあることが分かった。この老舗間での立場・役割の違いは、この地域の老舗同士の立地時期に差があるという地域性が影響していると考えられる。

老舗と地域の関係は、関わる場の中心が町会であること、加えて老舗事業主は単なる住民の会員としてではなく、役員など重要な役割を担ってきたことが分かった。また、若旦那は【44】を除いて住まいを町内においていないこと、先代は入っていなかった企業含めヒアリング先全ての若旦那が青年部に入っており、以前は町会役員が主導していた神田祭りを主導するようにもなったことが分かった。

以上より、老舗企業は特に若旦那世代において職任分離が進み、住民ではなくなっているにも関わらず、町会(青年部)を媒介として地域に積極的に関わっていると考えられる。このような対応を取る理由として、将来の住民としての意識、地域の特色の純化、ノブレスオブリージュの意識、歴史の反省の共有が考えられる。

4. まとめ

神田の老舗は、地域によって立地要因や主な立地時代の違いがあり、さらに、立地時期が同じ老舗が固まっている地域と立地時期の違う老舗が混在している地域が見られた。後者の旧連雀・佐柄木町の老舗について社会関係を見ると、老舗事業主が住民として町会に入り、地域と関わってきたことが分かる。近年の職任分離等により地域との関わりの場が失われる可能性があったが、現若旦那は町会青年部を通して地域に関わり続けている。この背景として地域に対する責任感や歴史の共有があり、これが老舗間関係で共有・伝達されてきたと考えられる。

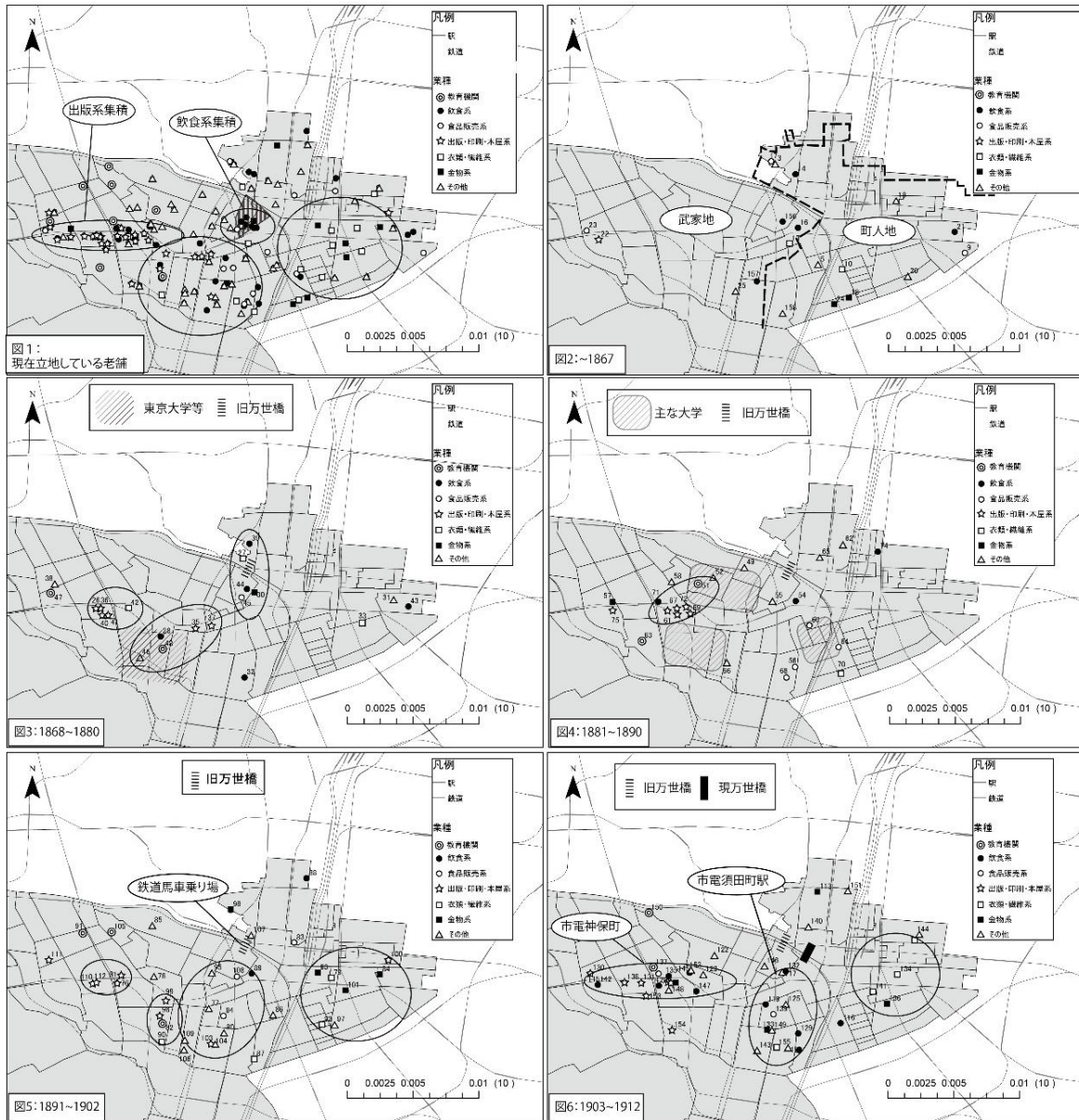


図 1~6 老舗立地分布の変遷

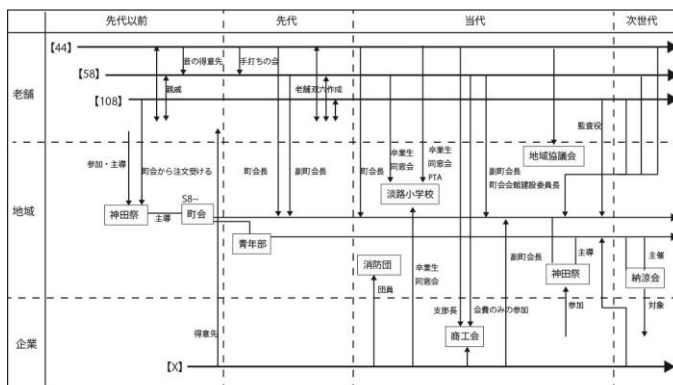


図 7 旧連雀・佐柄木町の社会関係

参考文献

東京都千代田区(総務部総務課) (1998)「新編千代田区史通史編」,前川洋一郎(2010)「地域社会における老舗の生成プロセスについて考察--旭川市、松前町・江差町、守口市・門真市の事例をもとに」流通科学大学論集 流通・経営編 22(2),51-74,松本久美(2010)「まちづくり活動の担い手に関する地理学的研究」明治大学大学院 博士学位請求論文

¹ 2013年11月、特に地域との関わりが深い三社【44】【58】【108】の老舗事業主及び創業60年企業【X】の事業主に、それぞれ二時間程度、老舗と地域の関わり方、老舗の企業形態、災害や危機対応についてヒアリングを行った。

*東京大学 修士課程
 **東京大学 特任助教
 ***東京大学 准教授
 ****東京大学 教授

*Master Course, Univ. of Tokyo
 **Assist. Prof., Univ. of Tokyo
 ***Assoc Prof Univ. of Tokyo
 ****Prof Univ. of Tokyo